



## 町内に伝わる昔話などを語り継ぐ ～かたりべの里クラブ～

平成14年6月、日吉町の朗読ボランティアの中から、町内に伝わる昔話などの「語り部」活動を志したメンバーにより「かたりべの里クラブ」が結成され、いろりを囲んで昔話をする活動が始まりました。日吉町郷土資料館にあるかやぶき民家（平成12年、日吉ダム周辺整備の一環として開設した、水没する天若集落にあった2軒のかやぶき民家を移築した野外展示施設）が活動拠点です。現在会員は5人。日吉町に伝わる物語、お祭り、行事のお話や、昔の暮らしの様子などを次世代に伝えるため、人形劇や伝承調理のボランティアと協力して、体験を通して楽しみながらの交流が行われています。

### かやぶき民家の探検会



でこの原理「唐臼（からうす）」に興味津々の子ども

5月4日、かやぶき民家の探検会を郷土資料館で催されました。かやぶき民家の観察ポイントをクイズ形式で出題し、当時の暮らしぶりを説明。牛小屋を見て、牛をペットととらえる子どもに農作業に欠かせない動力としての役割を説明しておられました。

### お知らせ

かたりべの里クラブでは、一緒に活動していただける方を募集しています。興味のある方は、南丹市社会福祉協議会日吉支所 TEL:(0771)72-0947までご連絡ください。

また、子ども会や地域行事に出向く、「出前語り部」も行います。お気軽にご相談ください。

かたりべの里クラブ  
代表 久野克己さん  
(連絡は社協日吉支所まで)



◀紙芝居を使って説明するメンバー

8月21日には、郷土資料館開館10周年記念行事として「あの戦争と子どもたち」をテーマに、紙芝居などを使って学童集団疎開のお話し会を開催。さらに、当時の食事情を体験できるよう、昔の食文化を次世代へ伝える活動を行うボランティアグループ「さくらんぼ」



▲「すいとん」を味わい当時から考え合う参加者

の協力で「すいとん」の試食も行われました。  
核家族化が進み、家庭では日本や地域がどのように移り変わってきたかを語り継ぐ機会が少なくなった今日、語り部として奮闘中の皆さんです。